

平成29年度進捗評価シート
小田原市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）
（最終変更平成30年3月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施に向けた推進体制の強化	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 清閑亭保存整備活用事業	3
2 松永記念館整備活用事業	4
3 歴史的風致形成建造物等整備事業	5
4 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	6
5 八幡山古郭・総構整備事業	7
6 案内板等整備事業	8
7 小田原文学館整備活用事業	9
8 国道255号電線地中化事業	10
9 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	11
10 祭礼等保存継承事業	12
11 歴史的風致形成建造物等活用事業	13
12 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	14
13 街かど博物館活用事業	15
14 なりわい交流館活用事業	16
15 伝統的工芸品産業産地組合助成事業	17
16 小田原散策マップ等作成事業	18
17 レンタサイクル事業	19
18 民俗芸能保存支援事業	20
19 無形民俗文化財記録作成事業	21
20 文化財の総合的把握・育成支援事業	22
21 伝統行事・伝統文化啓発事業	23
22 職人育成研修等推進事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の指定	25
2 文化財の修理(整備を含む)及び防災	26
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 伝統技術で架け替え 城址の住吉橋 ほか	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 小田原城天守閣の魅力向上	29
2 観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)	30
3 きづかひのまちの取組(小田原産木材の活用など)	31
4 姉妹都市間におけるマンホール蓋交換事業	32
5 歴史的風致に関する意識啓発	33
6 歴史まちづくりの効果	34

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 35

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
計画実施に向けた推進体制の強化	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 計画変更や事業実施に係る懸案事項については、「小田原市歴史まちづくり協議会」において協議し、推進にあたる。行政内部の進捗管理を行うため「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」を組織し、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取り組みが行える仕組みとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

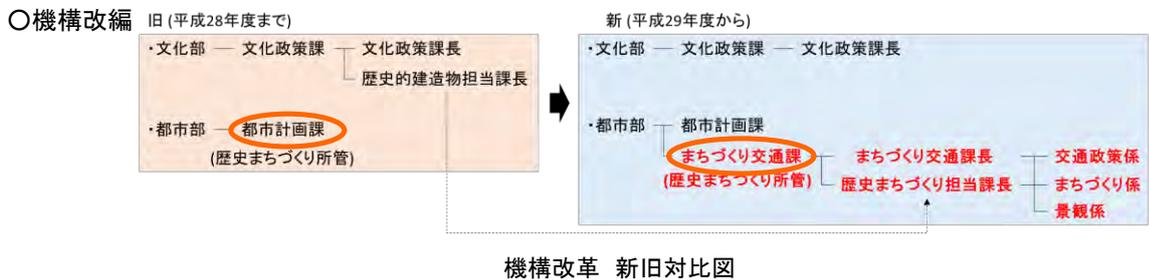
- 平成29年4月より都市部内に「まちづくり交通課」を新たに設置し、「歴史まちづくり担当課長」を配置、歴史的資源の保全だけでなく、まちづくりと一体となった活用に向けた組織体制を整えた。
- 小田原市歴史まちづくり協議会を年2回開催した。
第1回協議会開催の際には、任期満了に伴う委員への委嘱式及び計画の推進に向けた協議を行った。
- 小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議を年2回開催した。
各事業について、引き続き庁内横断的な組織である推進会議を通じて情報共有や連携を図った。
各事業や関連事業などの一覧を活用し、特に、重点的な取組や新たな取組に対し、随時協議を行った。
- 各推進会議の終了後に主な支援事業である社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)の予算等調整会議を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



○小田原市歴史まちづくり協議会



委嘱式の様子 第1回 協議会の様子

- 第1回(平成29年5月15日開催)
- 委嘱式(委嘱状の交付、市長あいさつ)
 - 会長及び副会長の選出について
 - 「小田原市歴史的風致維持向上計画」の進捗について
 - 「小田原市歴史的風致維持向上計画」の変更に向けて
- 第2回(平成30年1月30日開催)
- 「小田原市歴史的風致維持向上計画」の進捗について
 - 歴史的風致形成建造物の指定及び候補について
 - 「小田原市歴史的風致維持向上計画」の変更について

○小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議



第1回 推進会議の様子



第2回 推進会議の様子

- 第1回(平成29年4月24日開催)
- 小田原市歴史的風致維持向上計画及び推進会議について
 - 小田原市歴史的風致維持向上計画の推進に係る事業の進捗及び予定について
 - 小田原市歴史的風致維持向上計画と関連する取組みについて
- 第2回(平成29年11月28日開催)
- 歴史的風致維持向上計画の事業の進捗状況について
 - 歴史的風致維持向上計画の計画変更について
 - 歴史的風致維持向上計画に係る事項について(各スタッフより)
- ※また、推進会議を中心に、本計画における啓発事業(歴史的風致維持向上計画の概要版別冊パンフレットの配布等)を実施(P.33参照)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 重点区域はすべて都市計画区域内であり、今後とも都市計画制度等を積極的に活用し、重点区域として相応しい良好な市街地環境の形成を進める。
 また、景観計画に示された景観形成方針と類型別・構造別の方針に配慮すべき区域内に含まれるほか、3つの拠点型重点区域を含むため、これら景観施策と積極的な連携を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成18年に策定した「小田原市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。
- ・重点区域内の民間建築物に対し、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等の対象経費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施した。
- ・平成21年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導を行った。(色彩制限有)

【定量的評価】

拠点型重点区域別の景観届出件数

H29 小田原城周辺地区 10件、小田原駅周辺地区 8件、国道1号・本町南町地区 13件 計31件

※うち景観形成修景費補助金の活用 1件

拠点型重点区域別の許可済み屋外広告物数

H29 小田原城周辺地区 0件、小田原駅周辺地区 25件、国道1号・本町南町地区 4件 計29件

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○重点区域内における良好な景観形成の事例 (景観形成修景費補助金制度によるもの)

<国道1号(旧東海道)沿い店舗 (ういろう別館)>



修景前



修景後



隣接建物と調和する外観



石柱等を配置

- ・国道1号本町・南町地区
- ・旧東海道である国道1号に面する外壁面を塗り仕上げとし、各階に「いぶし瓦」の底を設け、ルーバーや建具形状(縦)など工夫することで、歴史的景観に配慮したデザインとしたもの
- ・瓦と塗装については、ハウスメーカーであるが特注仕様によるもの
- ・外構についても、石や石柱、シンボルツリーなど効果的に配置することで、旧東海道の沿道景観を創出しているもの

○重点区域内における良好な景観形成の事例 (屋外広告物条例によるもの) ※市広報平成29年9月号へ掲載



▲景観に配慮したもの



▲一般的なもの



▲変更後



▲変更前

※本計画の重点区域内に設定している景観計画上の拠点型重点区域(3区域)において、景観届出の対象となるものについて、対象経費の一部を補助する助成制度などを活用しながら、本市景観計画に適合するよう規制誘導を行っている。
 ※本計画の重点区域内に設定している景観計画上の拠点型重点区域(3区域)において、屋外広告物条例により、広告物の地の色彩に一定の基準を設けており、新規及び継続の許可手続きの際、確認を行っている。
 ※景観の重点区域以外では、景観の届出は、一定規模以上のものに限っているが、届出対象でないものについても、窓口等において、歴史的景観に寄与する意匠や色彩への誘導を行い、自主的な景観形成の取り組みを促している。

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
清閑亭保存整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財で、歴史的建造物である清閑亭は、建物の老朽化が著しいため、補修・修理を実施し、観光客・市民の憩いの場、旧別邸等を巡る回遊ネットワークの拠点、別邸文化を発信する施設として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<保存整備> ・清閑亭と小田原城を結ぶ散策路(ルート)整備を、民間事業と連携し実施した。 【定量的評価】 散策路施工延長 平成25年度:75.6m終了、平成27年度:36.3m終了、平成29年度:71.5m終了 計画期間累計 実施済み183.4m / 計画延長258.64m = 約70.90%(進捗率)			
<活用> ・民間団体の自由な発想を活かすため、NPO法人へ活用委託し、施設に関連したイベントやまち歩きを通年で実施した。 ・回遊性の拡大に向け、近隣の歴史的建造物(松永記念館、小田原文学館等)との回遊性を高めるポスター、各施設を紹介する葉書の作成やスタンプラリーを実施した。 ・春と秋の2回、小田原地下街ハルネギャラリーでパネル展示を実施した。 ・神奈川県と民間の協働事業である「湘南邸園文化祭」へ引き続き参加し、市外への積極的な情報発信をした。 【定量的評価】 平成27年度入館者 29,007人 事業数 106事業 参加者数 16,785人 平成28年度入館者 33,201人 事業数 139事業 参加者数 20,719人 平成29年度入館者 33,102人 事業数 106事業 参加者数 27,849人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<保存整備> ○周辺散策路整備		○民間事業との連携	
 <p style="text-align: center;">整備前</p>	 <p style="text-align: center;">整備後</p>	 <p>市民参加による大鳥居建立に伴う御木曳き(おきびき)と 立柱祭(りっちゅうさい)の様子 ※御用材は、樹齢300年の小田原の大杉を使用 (平成29年8月30日)</p>	
<活用> ○清閑亭でのイベント(講演会、まち歩き、展示会、建物ガイドなど)			
 <p>足柄刺繍 上田菊明の染と織展 (平成29年5月11～28日) 来館者数:2,878人</p>	 <p>漢詩吟詠会 (平成29年9月30日) 来館者数:51人</p>	 <p>建物ガイド</p>	
○回遊性を高める取組		○神奈川県との協働事業への参加	
 <p>小田原地下街ハルネ(HaRuNe)ギャラリーのパネル展示</p>		 <p>湘南邸園文化祭パンフレット(県内9市5町掲載)</p>	

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
松永記念館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	昭和前期に建てられた歴史的建造物である松永記念館の敷地内に所在する歴史的建造物の修理及び庭園の修景整備等を一体的に実施し、観光客・市民の憩いの場、回遊ルートの拠点とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<整備> ・平成29年度は、前年度に寄贈を受けた無住庵の松永記念館への移築に着手した。建物の現況を調査し、解体実施設計および移築基本設計を作成した。			
<活用> ・庭園呈茶や紅葉が見ごろな時期に板橋地域周辺と一体となったイベント「夢見遊山いたばし見聞楽」を実施した。 ・松永記念館近くにある寄木細工の工房OTAMOKKO(太田木工)と連携した寄木細工体験イベントや、寄木細工作家と現代アーティストとのコラボレーションによる展示(箱 HAKO-寄せる・彫る)を開催した。 ・松永記念館近くにある旧内野醤油店(登録有形文化財、歴史的風致形成建造物)の見学会と食事会などを実施した。 ・市民団体が中心となり、小田原にゆかりのある茶人・益田鈍翁の生誕170年記念茶会「秋・小田原茶会」が開催された。			
【定量的評価】			
来館者数 平成24年度 22,388人、平成25年度 22,905人、平成26年度 22,086人、平成27年度 25,918人 平成28年度 19,878人、平成29年度 22,461人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

<整備>

○無住庵の移築



移築前



現況調査



移築予定地(老樺荘向かい、黄梅庵跡)

<活用>

○夢見遊山いたばし見聞楽(平成29年11月3日) 参加者数:1,258人

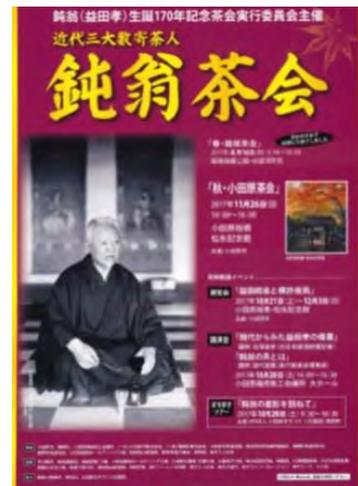


松永記念館入口



お囃子の演奏

○益田鈍翁生誕170年記念茶会
(平成29年11月26日)
参加者数:97人



開催案内

○老樺荘での展示「箱 HAKO-寄せる・彫る」(12月1日～12日)
来場者数:1,232人



鎖の間での展示風景

2017.12.01 (Fri) - 2017.12.12 (Tue)
10:00～16:00

会場:松永記念館 老樺荘
観覧料: 主客別館の交遊会館券あり

2017.12.09 (Sat) 開館(イベント)
10:00～16:00 入場 500円

箱 HAKO
寄せる・彫る

松永記念館
〒256-0004 小田原市東門外41番地1
TEL: 0460-23-1377
観覧料: 観覧券あり(主客別館の交遊会館券あり)
小田原市よりバスで約15分

太田 重 KEN OTA
2019年 寄木細工職人(国) 木造大工
2019年 彫刻士(国) 彫刻家
デザイン監修(小田原市) 寄木細工を学ぶ中
http://www.ota.com/

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内にある歴史的建造物を対象に、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理・修景に対する助成を行うとともに、定期的に一般に公開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・指定・登録文化財や未指定の建造物を歴史的風致形成建造物へ指定することで、保存・活用が図られている。
 ・候補No.8「籠清」、No.12「江嶋」について、所有者同意のうえ、歴史的風致形成建造物へ指定した。(平成30年3月15日)
 ・新たに判明した「江嶋屋陶器店」について、指定候補(No.21)へ追加した。

【定量的評価】

歴史的風致形成建造物への指定数
 平成24年度 4件(松永記念館、清閑亭、小田原文学館本館、同別館)
 平成27年度 2件(岡田家住宅、皆春荘)
 平成28年度 2件(無住庵(松永記念館への追加)、旧内野醤油店)
 平成29年度 2件(籠清、江嶋) ※指定候補への追加1件(江嶋屋陶器店)
 計 10件(うち既存指定への追加1件を含む)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 平成27年度に指定した岡田家住宅(指定番号5)、皆春荘(指定番号6)について、今後維持保全に関して必要な措置を講じる必要がある。

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致形成建造物への指定(民間所有)



籠清

- ・候補No.8
- ・歴史的風致形成建造物(指定番号8)
- ・宿場町・小田原の水産加工業にみる歴史的風致
- ・大正13年(1924年)竣工の小田原蒲鉾販売店
- ・出桁造りが特徴的な町屋建築、1階の漆喰蛇腹天井の細かいデニールパターンが、店の意匠性と格を高めている。
- ・軒先に掲げられている櫓の厚板の看板に書かれた『加古清』の文字は、三井物産の創設に関わった実業家「益田孝(鈍翁(どんのう))」の筆によるもの。



江嶋

- ・候補No.12
- ・歴史的風致形成建造物(指定番号9)
- ・小田原城下の旧三大明神例大祭にみる歴史的風致ほか
- ・昭和3年(1928年)竣工、旧甲州道沿道にある茶・和洋紙等の小売店
- ・茶と紙を扱うため、耐震、耐火、耐湿も考慮して建てられた堅牢な造りとなっている。
- ・小田原の伝統的な商家の歴史を感じる出桁造りが特徴、熨斗瓦を積み上げた瓦葺きの屋根は、関東大震災後の建物としては珍しいものである。

○歴史的風致形成建造物の指定候補への追加(民間所有) ○指定済物件の周知



江嶋屋陶器店

- ・候補No.21
- ・板橋地区周辺にみる歴史的風致
- ・上記江嶋から暖簾分、明治時代後半から陶器商を営む店舗
- ・1階純和風、2階洋風の木造建物
- ・野崎ら茶人と交流があったとされる。



平成29年3月15日指定済の旧内野醤油店(指定番号7)の市広報掲載記事(平成29年5月号)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業		
計画に記載している内容	「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき小田原城本丸・二の丸の史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成22年度に整備実施設計を策定し整備を開始した御用米曲輪について、平成25年度より継続して実施している修景整備工事においては、北東・北西土塁の形状復元や地被植栽、駒寄の設置等を行っているが、平成29年度は、北東土塁のクスノキの植栽管理を実施した。
 ・平成2年の復元から相当の年月が経過し、経年劣化等が著しい住吉橋について、架け替え工事が完了した。あわせて、工事見学会を実施し、構造や部材など伝統工法の周知を図った。(p.27参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○修景整備工事



クスノキ植栽(管理前)



クスノキ植栽(管理後)



住吉橋保存修理工事(着手前)



住吉橋保存修理工事(完成後)

○史跡小田原城跡住吉橋保存修理工事 見学会



第1回(平成29年7月22日)
参加者数:100人



第2回(平成29年9月23日)
参加者数:24人

○史跡整備の周知



市広報
掲載記事
(平成29年
9月号)

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
八幡山古郭・総構整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成32年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業		
計画に記載している内容	小田原のまち割りを規定している戦国時代の文化遺産である史跡小田原城跡の八幡山古郭及び総構の整備や、史跡小田原城跡を説明するためのガイダンス施設の整備を順次行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」で優先的に史跡指定をして公有地化すべき場所となっている民有地を取得した。 ・平成29年度より、史跡小田原城跡管理を小田原城総合管理事務所へ移管し、八幡山古郭・総構について一体的な維持管理体制を整え、土塁や堀の形状が分かるよう草刈などを行った。 ・民間団体主催による総構を巡るツアーなどが実施された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○民有地の取得



位置図



用地取得した小峰御鐘ノ台大堀切東堤

○総構を巡るツアーの実施

大外郭の会主催見学会

小田原城総構を一周しよう!!



小田原城総構は天正18(1590)年、天下統一を目指した豊田秀吉の小田原攻めの際に北条氏が小田原の町全体を守るために築いた全長9kmにも及ぶ防衛ラインです。秀吉軍は約15万の大軍を持って小田原城を取り囲むも総構は約100日にも及び最期に当地主北条氏康の奮戦によるもので総構ではなく崩壊でした。プラタモリでも取り上げられ歴史的にも重要な総構を一周しそのスケールを体験してみましょう。

日時：平成29年10月1日(日) 少雨 雁行 飛天中止
時期：9:00～16:00ころ
集合場所：小田原駅西口北条早雲公像前
 ※事前申し込み後当日定時までにご集合ください。
 ◆参加費：大外郭の会参加費 予250,000円(神奈川県小田原市南町 1-5-74)
 ◆FAX受付：0465-24-0254 ◆メール受付：houyou5@excite.co.jp
 ◆必要事項：「住所・氏名・電話番号」(保険用) ◆申込締切：9月29日(金)まで
 ◆時間：1:00分 当日参加時にご来しください ◆持ち物：お弁当、飲み物、筆記用具等
 主催：大外郭の会 後援：小田原市教育委員会

民間団体主催の総構ツアーのチラシ

(平成29年10月1日)
参加者数80人

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物等について、案内板や情報板の新設・更新を実施する。市民や来訪者が建造物等への理解を深めることができるとともに、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークが形成される。
 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ウォーキングコースに係る道標4基を設置した。(P.18参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	さらなる回遊性向上のため、既存の案内サインの効果的な配置に向けた検討を行う。 状況を示す写真や資料等

○道標(損傷著しい道標を随時更新)



歴史と文化の香るまち散策コース
 諏訪の原・西部丘陵ウォーキングコース
 (小峯御鐘ノ台大堀切付近)



歴史と文化の香るまち散策コース
 諏訪の原・西部丘陵ウォーキングコース
 (小峯御鐘ノ台大堀切付近)



久野遺跡巡りコース
 (妙泉寺付近)



諏訪の原・西部丘陵ウォーキングコース
 久野遺跡巡りコース
 (龍泉寺観音堂付近)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

小田原文学館整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 登録有形文化財である小田原文学館(本館・別館)は、屋根の改修を実施するとともに、周辺の歩行者空間の整備等と併せて、施設内に新たな便益施設を整備し、まちなかを回遊する際の休憩施設としての機能を付加する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成25・26年度に実施した調査による成果を基に、小田原文学館本館・管理棟及び白秋童謡館の改修計画を作成、平成28年度の実設計に基づき、白秋童謡館の耐震補強、劣化部分の補修、損傷が著しい屋根の改修工事に着手した。
 ・改修工事の見学会を実施し、現場にて参加者へ説明した。
 ・文学のまちづくりの新たな担い手づくりのため、「小田原文学サロン」事業を実施した。

【定量的評価】

小田原文学館 来館者数
 平成23年度:9,121人、平成24年度:9,578人、平成25年度:8,068人、平成26年度:8,501人、平成27年度:10,012人、平成28年度:8,834人、平成29年度:7,823人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<整備>

○屋根の改修



白秋童謡館 建物外観



屋根材(銅板葺き) 改修作業中



屋根材(銅板葺き) 改修前



屋根材(銅板葺き) 改修後

<活用>

○小田原文学サロン事業



内容: 烏賀陽弘道氏講演会「フェイクニュースの見分け方」
 開催日: 平成29年11月5日(日) 参加者数: 21人

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成29年度

項目	現在の状況
----	-------

国道255号電線地中化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路事業(基幹事業))

計画に記載している内容 国道255号電線類地中化全体計画のうち、旧甲州道に位置する銀座・竹の花周辺地区において、電線類地中化を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成23～28年度 電線共同溝工事等を実施
- ・平成29年度 銀座通り交差点、錦通り出口交差点 信号施設及び照明灯改修工事を実施
 栄町一丁目交差点～竹の花交差点付近間 歩道舗装、車道舗装及び街路樹設置工事を実施

【定量的評価】

平成29年度 : (実績延長)L=920m (計画延長)L=920m
 計画期間累計 : (実績延長)L=920m (計画延長)L=920m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 竹の花交差点より北側部分も同様に、実施設計において、照明灯の位置と共に、街路樹の設置など調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等

整備前

整備後

整備前

整備後

銀座通り交差点北西側より北を望む

銀座通り交差点南側より北を望む

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧甲州道沿いに位置する銀座・竹の花周辺地区において、地区街づくり基準に基づく景観修景への助成、案内板の設置等を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「本物志向の活力ある街づくり」がコンセプトの「地区まちづくり基準」に基づく「銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会」の自主的な景観形成活動を支援するため、修景整備に係る経費の一部を助成している。
 ・「7.国道255号電線地中化事業」(p.10参照)による電線類の地中化、歩道的美舗装化、街路樹整備により、当該地区の街なみに変化が生まれた。

【定量的評価】

街なみ環境整備事業補助件数

平成23年度:4件、平成24年度:2件、平成25年度:4件、平成26年度:2件、平成27年度:2件、
 平成28年度:2件、平成29年度:1件 (計17件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



○街なみ環境整備事業補助金



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
祭礼等保存継承事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭礼等の伝統文化の継承に必要な道具の更新を行い、歴史的風致を形成している活動の継続を図るとともに、それらの活動のPR等をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・無形民俗文化財となっている民俗芸能団体が出演する地域の祭礼や学校の農業体験学習に参加している田植歌保存団体の活動などをPRすることで、市民等に対し地域の民俗芸能の大切さについて啓発を図ることができた。
- ・小田原ちようちん夏まつりが開催され、市内の自治会神輿によるパレードを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「栢山田植歌」
(平成29年6月1日)

※桜井小水稲栽培体験学習に参加



「根府川寺山神社の鹿島踊り」
(平成29年7月16日)



「小田原ちようちん夏まつり」
(平成29年7月29・30日)

※自治会みこしパレードは、7月30日に実施

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
歴史的風致形成建造物等活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定された建造物等を定期的に一般公開するため、事業運営する支援法人等に支援し、建造物の回遊、交流拠点としての機能を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・登録有形文化財や小田原ゆかりの優れた建造物、歴史的風致形成建造物等について、所有者の協力のうえ、春と秋年2回の公開事業(西海子通りの歴史的建造物学習会及び観覧会)を実施した。
- ・歴史的風致形成建造物「岡田家住宅」において、庭園及び茶室の一般公開(毎週木・金・土・日の週4日及び祝日)、民間団体主催のイベント(茶会)を実施した。
- ・歴史的風致形成建造物の「旧内野醤油店」において、地域住民団体による、一般公開やイベントなど実施した。
- ・アートと歴史的建造物(松永記念館、旧内野醤油店、旧瀬戸たばこ店)とのコラボレーションにより活用における新たな可能性を見出した。

【定量的評価】

岡田家住宅	平成28年度	開館日: 172日	入館者数: 7,005人	催事数: 8
	平成29年度	開館日: 203日	入館者数: 9,538人	催事数: 11
旧内野醤油店	平成28年度	開館日: 65日	入館者数: 978人	催事数: 11
	平成29年度	開館日: 44日	入館者数: 899人	催事数: 14

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文化財建造物 見学会



春の西海子通りの歴史的建造物学習会
岡田家住宅にて
(平成29年5月27日) 参加者数: 18人



秋の観覧会
旧内野醤油店にて
(平成29年11月12日) 参加者数: 472人



開催案内

○岡田家住宅の活用



茶室を使った茶会の様子
(H29.10/28,11/11,12,18,19,25,12/2,3,9,10)
参加者数: 96人

○アートと歴史的建造物のコラボレーション

- ・文化セミナー(民間主催)
- ・アール・ド・ヴィーヴル展(民間主催)



松永記念館・旧内野醤油店にて
(平成30年1月20日)
参加者数: 41人



開催案内



旧瀬戸たばこ店にて
(平成29年11月9～15日)
参加者数: 350人

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致が色濃く残る板橋地区やかまぼこ通り地区において、歴史的環境にあった街なみ形成や景観に配慮したまちづくりの推進に向け、景観調査、住民とのワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<板橋地区>

・大窪及び十字地区については、地区の歴史・文化を学ぶための勉強会設立に向けて、各地域別計画に基づくまちづくり委員会と行政との公民連携による、歴史まちづくりの検討を開始した。

<かまぼこ通り地区>

・かまぼこ通りについては、(一財)地域総合整備財団や国土交通省などの支援を活用した「社会実験」を実施するとともに、まちづくりの専門家による現地視察や意見交換を踏まえ、地元協議会である「かまぼこ通り活性化協議会」が策定した「まちづくり構想」の実現に向けた実施計画などについて検討した。

・目に見える取組みとして、(公財)東日本鉄道文化財団の支援を活用し、区内にある魚がし山車小屋修景を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	先行地区を中心にハード面での取組みと地区住民に主体性を持たるようなソフト面の取組みを実施し、持続可能な自立した仕組みづくりを促進する必要がある。

状況を示す写真や資料等

<かまぼこ通り地区>

○(一財)地方総合整備財団や国土交通省の支援を活用した社会実験の様子



地場産業の活性化を検証
(かまぼこ作り体験)



回遊性の向上を検証
(地区内ヘルンサイクル場所の設置)



近くにある海の活用を検証
(ハンモックの貸出)



ゆとりのある歩行者空間を検証
(一方通行、植栽の設置)



専門家(5名)によるアドバイス
(平成29年10月10日)

○地域イベント



第2回小田原宿場祭り
日本酒一斉乾杯の様子
(平成29年10月1日)

○(公財)東日本鉄道文化財団の支援を活用した魚がし山車小屋修景と説明板設置
(地域産木材を活用し、山車が見える仕様のものに改修。情報発信する案内板も設置)



山車小屋修景前



山車小屋修景後



壁面の案内板



山車小屋のお披露目式
(平成29年10月1日)

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
なりわい交流館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なりわい交流館において、小田原の地場産業の情報発信や生涯学習等の各種イベントの会場として、市民や観光客が交流する場を提供することにより、本市の歴史と伝統への認識が高まる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開館から16年が経過し、誰でも立ち寄れるお休み処として、また、観光客の回遊拠点として定着している。 来館者数：平成28年度 38,701人 平成29年度 39,001人 自主事業の開催：平成28年度 1回開催 来場者数61名 平成29年度 1回開催 来場者数266人 イベント会場の利用回数：平成28年度 122回 平成29年度 122回			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○小田原宿なりわい交流館機能

観光案内や休憩のために立ち寄っていただき、建物自体の持つ古い旅籠の雰囲気や、展示物の生業(なりわい)に関する資料に触れて頂くことにより、歴史と伝統への認識を高めている。



<1階> 観光案内・お休み処



<2階> イベントスペース



施設外観

○名産品のPRとおもてなし機能の強化

期間：平成29年10月1日(日)～5日(木)
 内容：地元農家による湘南ゴールド・梅・足柄茶のシロップを使ったかき氷の販売と、公園スペースへの縁台・番傘の設置



かき氷の販売



番傘・縁台の設置

○なりわいマルシェ

期間：平成29年10月21日(土)～22日(日)
 目的：観光客に産業文化をPRするとともに、地域住民に日常の買物の場を提供
 内容：地元農産物や加工品の販売、製作体験(寄木コースター・どら焼き・ちょうちん・かまぼこ)



なりわいマルシェ

○東海道宿場展 来場者数:266人

期間：平成29年12月23日(土)～平成30年1月3日(水)
 内容：品川宿から小田原宿までの宿場に関するパネルや地場製品の展示、小田原のちょうちん製作体験、川崎の麦わら細工体験



東海道宿場展(展示)



東海道宿場展(製作体験)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目			現在の状況
伝統的工芸品産業産地組合助成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中世より続く小田原漆器などの伝統的工芸品を担う産地団体が行う振興事業へ助成し、担い手の育成や伝統技術の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業に対し助成を行った。助成対象の事業には、従事者・後継者育成事業、販路開拓事業があり、担い手の育成や伝統技術の継承に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

組合による従事者・後継者育成事業

平成29年12月1、5、8、11、14日実施

(参加者数:63人)



かな実技研修の様子

ほか
 デザイン研修を実施
 平成29年11月6、14、17、20、27日実施
 (参加者数:65人)

組合による販路開拓事業

平成29年11月10日～12日実施



湿生花園合同展の様子

会場:箱根湿生花園

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
小田原散策マップ等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的な街なみ・施設等の案内、史実等のストーリー・回遊ルート等の紹介のための散策マップを作成し、点する歴史的資源等の回遊を促進することで、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ウォーキングコースに係る「おだわら散策マップ(西部版)」を増刷した。(p.8参照)
(A3判、両面印刷、4色カラー、25,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○おだわら散策マップ(西部版)



A3表面



A3裏面

○おだわら散策マップ全体のエリア



西部版

中央版

東部版

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
民俗芸能保存支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致を構成する民俗芸能は、中心市街地の若年層の減少により、次世代の担い手不足が懸念されているため、保存活動団体に対し、普及啓発や保存の取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原民俗芸能保存協会は、市内に残る民俗芸能団体により構成され、民俗芸能の保護・育成に努め、毎年秋に協会構成団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表する後継者育成発表会を開催し後継者の育成を図っている。
 ・平成29年度は12月9日(土)に小田原市民会館で開催した。(来場者数 472名)
 ・昨年に引き続き、「栢山田植歌」では地元2校の小学校(児童14名)との合唱を実現し、休憩時間中には曾我別所寿獅子舞保存会によるパフォーマンスが行われた。
 ・団体間の相互交流の場となるとともに、市民や次世代を担う子どもたちへ民俗芸能の普及を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



開会式



山王原大漁木遣唄



小田原祭囃子連絡協議会



小田原ちようちん踊り保存会



曾我別所寿獅子舞保存会



小田原囃子多古保存会



根府川寺山神社鹿島踊保存



栢山田植歌保存会



相模人形芝居下中座

平成29年度 小田原民俗芸能保存協会 後継者育成発表会

新4日 小田原市民文化祭 参加 入場無料!

平成29年 12月9日(土) 12:00開場 小田原市民会館 大ホール
 12:30開演 16:00終了

主催：小田原民俗芸能保存協会
 共催：神奈川県教育委員会 神奈川県民俗芸能保存協会 小田原市自治会連連合
 小田原市教育委員会 一般社団法人小田原市観光協会
 小田原市民文化財団 小田原市ふるさと文化振興会助成事業

後継者育成発表会チラシ

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
無形民俗文化財記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財の実態を調査し、現在における詳細な記録を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の多くの地域で行われている祭りのうち、特に特色ある地域として、「根府川寺山神社の鹿島踊り」1件について、実際の披露を取材し資料収集等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



井細田足下地蔵縁日



寺山神社祭礼(鹿島踊り)



井細田足下地蔵縁日



寺山神社祭礼(鹿島踊り)

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的把握・育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財の実態を調査し、現在における詳細な記録を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内文化財の総合的把握を進める作業の一環として、石造物を記録し後世に残すため、また市民の文化財に対する理解を深めるため、市民ボランティアによる石造物調査会を平成29年7月に発足した。(参加者数:24名) ・平成29年度は、市内城山地区を調査し、道祖神や六地藏、記念碑などの石造物(89個)を確認した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施にあたり、調査手法や会の運営方法など参加者と協議しながら、持続可能な形態を模索している。 石造物以外の文化財についても把握する必要がある、ボランティアによる調査活動の裾野を広げていく予定である。祭礼調査などボランティアによる調査が比較的容易なものから検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			

○道祖神や六地藏、記念碑などの石造物



城山地区谷津公民館の双体道祖神と五輪塔群
(城山1-8-20、年代不明)



道路開築之記
(城山2-24-16三差路、
大正11年建立の碑)

○市民ボランティアによる石造物調査会



事前説明会
(平成29年6月17日)



判読作業の様子
(平成29年10月10日)



住民から聞き書き調査の様子
(平成29年7月15日)



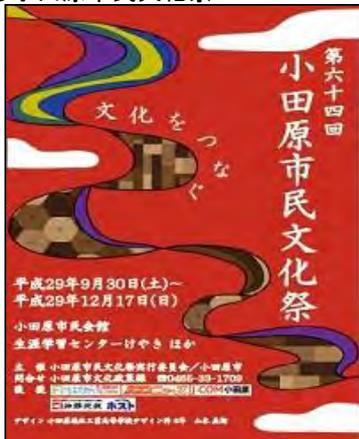
採寸作業の様子
(平成29年7月15日)

評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
伝統行事・伝統文化啓発事業		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統文化に関わる普及啓発のためのイベントの開催やパンフレットなどの製作を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・小田原市民文化祭における伝統文化発表会等(吟剣詩舞道大会、いけばな諸流展など)を開催した。 ・伝統文化のワークショップを開催した。 ・小学校で伝統文化のアウトリーチ事業を実施した。 ・小田原市民会館にて、人形浄瑠璃「文楽」を公演した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○小田原市民文化祭



チラシ

○伝統文化のワークショップ



人形浄瑠璃(H29.12/20 50人) ほか 能楽(H30.2/17 50人)

○小学校での伝統文化のアウトリーチ



和太鼓5枝 (H29.9/26,10/4,10/30,11/10,11/24 1,160人)



落語1枝(H29.11/7 160人)

○人形浄瑠璃公演



狂言1枝(H29.11/7 120人)



(H30.3/11 848人)



いけばな諸流展(H29.10/26～29 2,517人)

評価軸③-22 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
職人育成研修等推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	法人等と連携し、歴史的建造物の調査・実態把握と職人育成研修(調査・整備・改修等を兼ねた実践型研修)を進め、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を図る。 また、歴史的建造物の改修・整備、活用等を促進するための相談対応、利活用コーディネート等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・職人育成団体であるNPO法人おだわら名工舎による、清閑亭の欄間設置、松永記念館「烏薬亭」の外壁補修、岡田家住宅庭園の高木手作業伐採、旧岸田邸棟門板塀を教材とした実習を行った。 ・建物の歴史的な価値評価、日常の維持管理、修理・修復・改修等に関する相談に対し、必要な助言等を実施した。			
【定量的評価】			
平成28年度 職人育成研修の実施件数 4件(各研修の参加者数の合計 68人)			
職人研修相談の受付数(調査・修理相談等) 7件			
平成29年度 職人育成研修の実施件数 4件(各研修の参加者数の合計 58人)			
職人研修相談の受付数(調査・修理相談等) 7件			
【定性的評価】			
研修の参加者からは、「普段使わない伝統工法を再確認する機会を得た」、「今後の業務に活かしたい」などの感想を得た。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は、更なる実践型研修を取り入れるなど、さまざまな経験を重ねていくことにより、実際の現場施工にも繋げられるような研修にしていく。		
状況を示す写真や資料等			
○清閑亭を教材とした職人育成研修			
受講者: 小田原・南足柄大工職組員(16名)、指導: 「おだわら名工舎」調査研修理事 ほか			
			
清閑亭外壁		欄間の設置	
○西海子小路入り口に位置する旧岸田邸棟門板塀を教材とした職人育成研修			
受講者: 神奈川県立小田原城北工業高等学校建設科木工班(25名)、指導: 小田原大工職組会長 ほか			
			
修復前		部材の加工作業	
			
修復後		現地にて修復作業	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の指定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 重点区域内には、国指定史跡である史跡小田原城跡をはじめとする多くの指定文化財が存在している。本市の歴史的風致の維持向上のために、重点区域に集中的に存在する文化財の保存・活用を図ることが必要であり、関連法令に基づく保護措置を図るとともに、計画的な修理や整備を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡等の追加指定はなし。
- ・平成28年3月15日に歴史的風致形成建造物に指定済みの旧内野醤油店(指定番号7)が、平成29年10月27日に国登録有形文化財へ登録された。
- ・歴史的風致形成建造物と同様に、敷地内8件(①店舗兼主屋、②店蔵、③文庫蔵、④新座敷、⑤工場、⑥穀蔵、⑦稲荷社、⑧表塀)が対象となり、工作物(⑧表塀)の登録は、市内初となる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○国登録有形文化財へ登録された旧内野醤油店(歴史的風致形成建造物 指定番号7 敷地内8件)



①店舗兼主屋(右) ⑧表塀(左) ④新座敷(左奥)



②店蔵



③文庫蔵



⑤工場



⑥穀蔵



⑦稲荷社

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)及び防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理及び整備にあたっては、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図る必要があるため、詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。 日常から文化財の防災に対する意識を向上させるため、所有者・管理者・地域住民・消防が一体となった防災訓練を定期的を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<文化財の修理(整備含む)> ・史跡小田原城跡御用米曲輪において、修景整備工事を進めた。(p.6参照) ・国・県・市指定文化財や小田原ゆかりの優れた建築物の修理に対する補助事業を6件、事業にあわせた見学会として、岩瀬邸茅葺屋根葺き替え作業特別観覧会を1回実施した。 <文化財の防災> ・「文化財防火デー」にあわせ、消防と連携し、消防訓練(松永記念館)や設備点検・防火指導(7箇所)を実施した。 ・7箇所の文化財所有者を対象に、設備点検や防火指導を行った。また、広報誌等で防火意識の向上に向けた啓発活動を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<文化財の修理(整備を含む)> ○指定文化財等保存修理等助成事業 ・市指定史跡「稲葉一族の墓所」復旧工事への助成  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">修復前</div> <div style="text-align: center;">修復後</div> </div> ・小田原ゆかりの優れた建築物「岩瀬邸」茅葺屋根葺き替え工事への助成  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">修復前</div> <div style="text-align: center;">修復作業中</div> </div>			
<文化財の防災> ○消防訓練  <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">松永記念館 (平成30年1月30日)</div> ○設備点検・防火指導  <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">市内7箇所 (平成30年1月26、29日)</div>			
見学会案内 (平成29年12月17日) 参加者数:306人			



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開することにより、誰もが気軽に歴史的風致に触れることができる環境づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・「文化財公開事業」として、埋蔵文化財の出土品展や遺跡調査発表会、遺跡見学会、文化財建造物や寺社に保存されている指定文化財の公開(p.13参照)等の事業を開催した。
- ・文化財について、次世代を担う子どもたちが興味・関心を持つ身近な学習機会とするため、「文化財公開事業」を校長会で取り上げてもらうとともに、小中学校へのチラシ等の配布を行った。
- ・住吉橋の架け替え工事(p.6参照)において、見学会(全2回)を開催し、解体した部材を公開のうえ、工事に携わる棟梁から住吉橋の構造や木材等について説明し、国の選定保存技術「建造物木工」を駆使した住吉橋部材加工の実演を行うとともに、参加者に木材加工の体験をしてもらった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文化財公開事業

小田原市最新出土品展 2017

企画展：「千代寺院跡研究の到達点」

平成28年度に市内で行われた発掘調査で見つかった土器や陶磁器などの出土品の選別展を行います。

また、近年発掘調査の成果によって実態が明らかになってきた「千代寺院跡」を特集した企画展を行います。

会期：平成29年11月25日(土)～12月10日(日)

※11月27日(月)は休館日

時間：9:00～17:00

料金：無 料

会場：小田原市立かもめ図書館 2階 展示室
公民交流棟でも観覧いただけます。



最新出土品展の様子
(平成29年11月25日～12月10日)
来場者数724名



遺跡調査発表会の様子
(平成29年12月10日)
来場者数104名



最新出土品展チラシ
(小中学校へも配布)

遺跡見学会の様子
(平成30年3月)

○史跡小田原城跡住吉橋保存修理工事見学会



第1回 工事説明
(平成29年7月22日 参加者数100名)



第2回 加工体験
(平成29年9月23日 参加者数24名)



建造物木工の技術をもった棟梁

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
伝統技術で架け替え 城址の住吉橋	平成29年5月2日 ほか	神静民報
小田原城天守閣 来場者100万人達成	平成29年7月7日	タウンニュース、まちの情報誌ポスト ほか
国登録有形文化財へ 旧内野醤油店など答申	平成29年7月22日	神静民報
大鳥居建立をみんなの手で	平成29年8月18日 ほか	まちの情報誌ポスト、神静民報
鈍翁(増田孝)生誕170年記念茶会	平成29年12月8日	まちの情報誌ポスト
全国初！カードのようにマンホールの蓋をトレード！？	平成29年12月20日	横浜ウォーカー、朝日新聞、神奈川新聞、 タウンニュースほか
街かど博物館に新顔 老舗かまぼこ店「鱈吉」認定	平成30年1月23日 ほか	神奈川新聞、神静民報、タウンニュー ス、まちの情報誌ポスト

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・清閑亭保存整備活用事業(p.3)、松永記念館整備活用事業(p.4)、史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業(p.6)、街かど博物館活用事業(p.15)、文化財の指定(p.25)、文化財の修理(整備を含む)及び防災(p.26)、小田原城天守閣の魅力向上(p.29)、姉妹都市間におけるマンホール蓋交換事業(p.32)に関するについて報道された。
・イベント開催時には、行政側から積極的な情報提供をすることで取材があり、報道されることにより関心を高めることが出来た。

【定量的評価】

小田原市が、各種メディア(映画・テレビ・CMなど)に取り上げられた件数 ※()内は依頼・相談のあった件数
H23:100件(233件)、H24:74件(155件)、H25:70件(144件)、H26:85件(168件)、
H27:101件(179件)、H28:94件(171件)、H29:73件(121件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

伝統技術で架け替え 城址の住吉橋
老朽化進む 小田原市

住吉橋の老朽化が進み、平成29年5月2日に架け替え工事が完了した。伝統技術を用いた架け替えは、地域の歴史と文化を継承する重要な取り組みである。

平成29年5月2日付 神静民報

国登録有形文化財へ 旧内野醤油店など答申
小田原

旧内野醤油店が国登録有形文化財に指定された。これは、地域の歴史と文化を伝える重要な文化財として認められたことである。

平成29年7月22日付 神静民報

鈍翁(益田孝) 生誕170年記念茶会
関連のイベントも好評開催!

鈍翁の生誕170年を記念して、茶会やイベントが開催された。参加者は多く、好評を博した。

平成29年12月8日付 ポスト

大鳥居建立を みんなの手で!

大鳥居の建立に市民が参加し、みんなの手で完成させた。地域の一体感が感じられる素晴らしい取り組みである。

平成29年8月18日付 ポスト

フォト活性化 全国1カ所のまちに
マイルのまちを創ろう!

フォト活性化プロジェクトが実施され、地域の魅力を発信している。多くの観光客が訪れている。

平成30年1月号 横浜ウォーカー(雑誌)

街かど博物館に新顔 老舗かまぼこ店「鱈吉」認定

老舗かまぼこ店「鱈吉」が街かど博物館に認定された。伝統的なかまぼこ文化を継承している。

平成30年1月30日 神奈川新聞

来場者100万人達成 リニューアル以降の通算

天守閣リニューアル以降、累計来場者が100万人を達成した。リニューアルの効果は顕著である。

平成29年7月7日 タウンニュース

項目

小田原城天守閣の魅力向上

計画に記載している内容

市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・1960年に再建されてから、50年以上経過しており来館者の安全確保のため、平成27、28年度に耐震改修、空調設備の整備や展示リニューアルなどを実施した小田原城天守閣について、周辺にある常盤木門・歴史見聞館とともに、指定管理者制度を導入した。
- ・平成28年5月のリニューアル後からの天守閣入場者数が平成29年7月5日に累計100万人を達した。
【小田原城天守閣入場者数】平成29年度 738,086人
- ・小田原城や周辺施設を活用した誘客対策の実施
常盤木門SAMURAI館として平成28年10月1日リニューアル開館、甲冑展開催、「小田原北条氏の絆」天守閣特別展・シンポジウム開催、銅門特別公開、冬桜イルミネーション開催

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



耐震工事終了後の小田原城天守閣



常盤木門



100万人達成式典(7/5)



常盤木門SAMURAI館



常盤木門甲冑展(7/8~9/24 41,199人)



「小田原北条氏の絆」天守閣特別展(10/1~12/24)



100万人突破記念バッジ



銅門特別公開(土日祝日のみ)



冬桜イルミネーション(12/9~3/4)



「小田原北条氏の絆」シンポジウム(1/13) 小和田哲男氏による講演ほか

評価軸⑥-2
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)

計画に記載している内容 市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○まち歩きアプリの開発

- 観光客の回遊性や利便性の向上を図るために、観光用まち歩きアプリの開発した。
- アプリの仕様は、小田原城やその周辺、重点区域内などにおいて、「観光スポット情報」や「モデルコース」を提供、AR技術を用いて現存しない石垣山一夜城などを3DCGで再現する仮想空間体験を搭載している。
- 実施スケジュール
 - 平成29年4月 アプリケーション公開(周知用ステッカー及びのぼり旗の作成、小田原駅に横断幕の設置)
 - 平成29年11月 英語版PRちらしの作成
 - 平成30年3月 ARポイントに案内板設置

【定量的評価】

ダウンロード数 平成29年度 9,895件

○誘客ガイドの実施

- NPO法人小田原ガイド協会において、誘客ガイドや企画・予約ガイドなどのまち歩きツアーを実施した。

【定量的評価】

城址公園内の無料ガイド 平成29年度 985件(6,597人)
事前申し込み制の有料ガイド 平成29年度 482件(14,867人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

日本人だけではなく、外国人利用者も増加させる周知方法の検討を行う。

状況を示す写真や資料等

○まち歩きアプリの開発



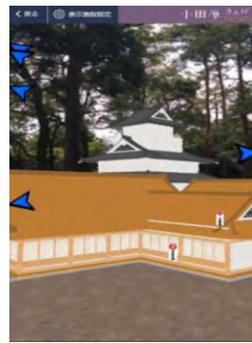
パンフレット



ロゴマーク



アプリ(トップ画面)



アプリ(3DCG)
※石垣山一夜城の
仮想空間体験

案内板(ARポイント)
の設置



○誘客ガイドの実施

(NPO法人小田原ガイド協会によるまち歩き事業の実施)



石垣山一夜城・縦走
ウォーキング
(平成30年1月27日)



小田原城大外郭
完全制覇二日間
(平成30年2月18日、
3月18日)

評価軸⑥-3
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

きづかいのまちの取組(小田原産木材の活用など)

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・「木づかいのまち」をコンセプトに小田原の地域産木材利用の拡大を試みている。
- ・木育事業について、東京おもちゃ美術館との「ウッドスタート宣言」に伴い、誕生祝い品を配付した。
平成29年度 誕生祝い品の配付数:469セット
- ・わたしの木づかいパイロット事業として、市内小学校の一部で、児童の学習機の天板を地域産ヒノキに付替えた。
平成29年度 小学校天板導入数:37名分
- ・他の小学校2校で地域産木材による箸作りを行った。
平成29年度 箸作り体験児童数:119名
- ・小田原の玄関口である小田原駅周辺施設として、小田原地下街「ハルネ小田原」のうめまる広場の壁面を、地域の木材業や大工職等の職人と連携し、木質化を実施した。
- ・地域産木材を利用した住宅リフォームや新築に対する一部補助事業(小田原産木材住宅リフォーム等助成事業)を実施した。
平成29年度 3件
- ・小田原市いこいの森において、小田原産木材による新しいバンガロー3棟の供用を開始した。
- ・引き続き公共建築物における木材の利用促進に努めた。
(「小田原市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」有)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



誕生祝い品
(ひのきかたかたとかまぼこくるま)



わたしの木づかいパイロット事業
(ヒノキ天板の学習机)



わたしの木づかいパイロット事業
(ヒノキの箸)



いこいの森バンガロー
(供用開始した3棟)



ハルネ小田原のうめまる広場
(壁面の木質化)

評価軸⑥-4
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

姉妹都市間におけるマンホール蓋交換事業

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・北条氏康の息子である、氏政(小田原城主)、氏照(八王子城主)、氏邦(寄居・鉢形城主)の北条三兄弟の縁から、平成28年度に姉妹都市盟約を結んだ小田原市、東京都八王子市、埼玉県寄居町が友好の証として、お互いのデザインマンホール蓋を交換し、各都市に設置することで、下水道事業へ関心を持ってもらうとともに、新たな観光資源として期待されるものである。

【経緯】

- 平成29年4月 市下水道部内に自主研究グループ「パワーホール小田原」を発足、マンホール蓋の有効性について研究を開始。
- 平成29年6月 小田原市から、八王子市、寄居町に更なる友好の証として、マンホール蓋交換を打診し、快諾。
- 平成29年6~11月 小田原市、八王子市、寄居町にて検討会を開催、協議を実施。
- 平成29年11月2日 小田原市、八王子市、寄居町で「姉妹都市間マンホール蓋交換事業基本協定」を締結。
- 平成29年11月19日 「八王子いちょう祭り」にて、記念セレモニーを開催。各市町の首長が出席、「記念パネル」の交換等。

・「マンホールカード」などを用いて、設置後のマンホール蓋をさらに有効活用していく。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

マンホール蓋設置後、マンホールカード配布の際に、マンホールファン(マンホールラー)が集結し、一時的に混雑する恐れがある。

状況を示す写真や資料等



記念セレモニー(平成29年11月19日)

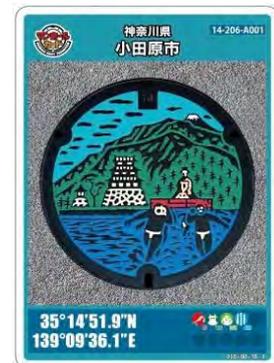


各市町マンホール



記念パネル

マンホールカード



- 小田原市 かまぼこ通りに設置予定。(平成30年度)
- 八王子市 八王子城跡内通路に設置済。
- 寄居町 玉淀河原へ向かう道路に設置予定。(平成30年度)

評価軸⑥-5
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目
歴史的風致に関する意識啓発

行政内部において関係部局が協調して取り組むこととし、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取り組みを行う。
事業実施においては、事業担当課が関係団体や個人と連携し、国や県など協議しながら実施するものとする。
市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 歴史まちづくり研修(市職員向け)の実施
 - ・新採用職員研修プログラム「体験学習」の一つとして実施した。
 - ・講義とともに、まち歩き研修では、NPO法人小田原ガイド協会による案内を体験した。
 - ・新採用職員には、市外出身者(約半数)が多く、今後市全体として効果的な取組みに繋げる意識啓発が出来た。
- 小田原市歴史的風致維持向上計画(概要版)の別冊パンフレット作成
 - ・平成26年度の市広報に連載した「6つの歴史的風致」に関するコラムを再編集したパンフレットを作成、窓口配布した。
- 生涯学習きらめき出前講座・体験学習プログラムの活用
 - ・歴史講座「小田原北条氏を学ぼう」(計15回)及び公開講座「北条氏と両上杉氏の抗争」を実施した。
 - ・市内老人クラブを対象に、「小田原市の歴史まちづくり」をテーマに出前講座を実施した。
- 民間団体による小学校への歴史参考書の配布
 - ・民間プロジェクトにより市内全小学校へ「おだわら学習帳」(小学4年生)、「おだわらぬりえ」(小学1年生)が配布された。
 - ・配布対象に合わせた分かりやすい内容となっており、歴史的風致の内容も含まれ、初等教育における周知が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○歴史まちづくり研修



NPO法人小田原ガイド協会による案内
清閑亭における振り返りワークショップ
(平成29年7月13日)
参加者数:42人(新任及び新採用市職員)



○小田原市歴史的風致維持向上計画(概要版)別冊パンフレットの配布
～6つの歴史的風致～



A3おもて



A3うら

○生涯学習きらめき出前講座・体験学習プログラムの活用



公開講座「北条氏と両上杉氏の抗争」
講師:小和田哲男氏(静岡大学名誉教授)
(平成29年9月18日)
参加者数:349人



重点区域の老人クラブへの出前講座
(平成29年5月25日)
参加者数:15人

○民間プロジェクトによる小学校への歴史参考書の配布



小学4年生対象



小学1年生対象

評価軸⑥-6
その他(効果等)

項目	評価対象年度	平成29年度
----	--------	--------

歴史まちづくりの効果

重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることで、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着が深まるだけでなく、歴史的建造物や伝統文化の継承や人々の交流人口の拡大や観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 歴史的風致形成建造物への指定数
 - ・指定・登録文化財や未指定の建造物を歴史的風致形成建造物へ指定することで、保存・活用が図られている。
 - H23 4件(松永記念館、清閑亭、小田原文学館本館、同別館)
 - H27 2件(岡田家住宅、皆春荘)
 - H28 2件(無住庵(松永記念館への追加)、旧内野醤油店)
 - H29 2件(江嶋、籠清)、指定候補への追加1件(江嶋屋陶器店)
 - 計 10件(うち既存指定への追加1件を含む)
- 入込観光客数及び各施設入館者数の増加 ※詳細は下記を参照。
 - ・史跡小田原城跡のシンボルである小田原城天守閣は、リニューアルオープンに伴い来場者は増加傾向にある。
 - ・歴史的風致形成建造物である松永記念館、清閑亭、小田原文学館の3館合計の入館者数は増加傾向にある。
 - ・市有だけでなく民有の歴史的風致形成建造物(旧内野醤油店・岡田家住宅)について、所有者の協力による定期的な一般公開により一定の来館者数を得ている。(詳細は、p.13参照)
- 重点区域内における修景整備件数の増加
 - ・これまで実施されなかった重点区域内における建築物等の修景整備が着実に実施されている。
 - H23:6件、H24:2件、H25:6件、H26:2件、H27:2件、H28:2件、H29:1件
 - 計21件(件数は施設数ごと。複数年整備は初年度にカウント。)
- 庁内部局間、県内自治体間、認定都市間での連携強化
 - ・歴史的風致建造物3館連携イベントの実施・各事業関連のまち歩き観光の実施・自主的な用水路整備
 - ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施・関東圏歴史まちづくりサミットへの参加 など
- 歴史的風致に関する啓発事業の実施(独自の取組)
 - ・歴史まちづくり研修の実施(担当職員及び新採用職員向け、講義とまち歩きによる研修)・庁内通信の発行
 - ・一覧表等作成による「見える化」・広報(特集や歴史的風致連載コラム)への掲載・ケーブルテレビへの出演 など
- 民間が主体となった良好な歴史まちづくり事例の広がり(波及効果)
 - ・大鳥居の竣工(p.3参照)・太田木工による松永記念館イベントとの連携(p.4参照)・民泊(石川漆器隣)
 - ・かまぼこ通りにおける山車小屋、案内板(p.14参照)・大木邸(パン屋麦藁)の自主的な修景
 - ・市内小学1年生と4年生への歴史参考書(おだわら学習帳、おだわらぬりえ)の配布(p.33参照)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

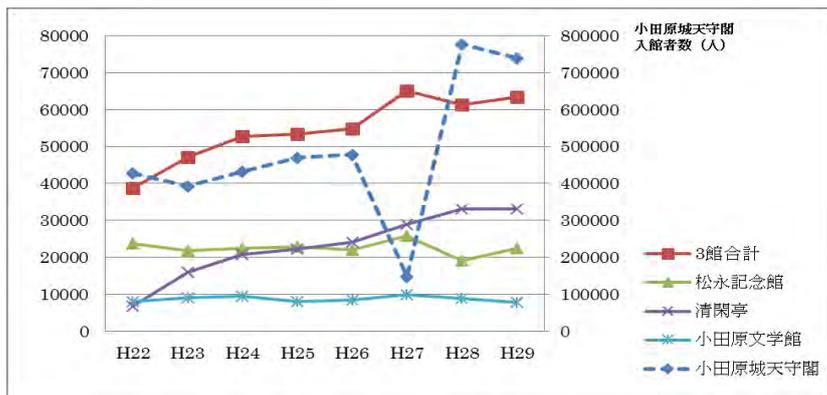
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○入込観光客数及び施設来館者数の増加

指標	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
入込観光客数(人)	5,040,000	4,246,000	4,370,000	4,650,000	4,514,000	4,538,000	5,943,000	6,114,000
小田原城天守閣入場者数(人)	427,119	392,146	431,798	469,183	502,330	148,325	775,406	738,086
松永記念館	23,829	21,901	22,388	22,905	22,086	25,918	19,246	22,461
清閑亭	6,884	15,969	20,777	22,324	24,190	29,007	33,201	33,102
小田原文学館(本館・別館)	8,046	9,121	9,578	8,068	8,501	10,012	8,834	7,823
3館合計(人)	38,759	46,991	52,743	53,297	54,777	64,937	61,281	63,386
旧内野醤油店(内野家住宅)	-	-	1,211	1,510	1,244	1,397	978	899
岡田家住宅	-	-	-	-	-	-	7,005	9,538

※小田原城天守閣入場者数(人)において、耐震改修工事による休館の為、H27(平成27年4月～6月)、H28(平成5月～12月)の集計値となる。



小田原城天守閣入場者数と歴史的風致形成建造物3館の入館者数

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成29年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:平成30年1月30日(火)午後2時から (会場:小田原市役所 3階 議会全員協議会室)	
(コメントの概要)	
<p>①職人育成研修に携わった職人が、実際の現場で活躍している事例があれば進捗報告に盛り込むべきだと考える。</p> <p>②竹の小径の片側が、宅地開発により失われてしまった。 計画書に記載されているが、歴史的風致の建造物以外のものの保全に手が回っていないのではないかと考える。</p> <p>③歴史的風致形成建造物の指定や国登録有形文化財を増やしていくことの意味は何であるか。 歴史的建造物の維持に苦慮している所有者もいると聞いている。</p> <p>④他都市では、重要伝統的建造物群保存地区の周辺に回遊拠点を増やすことで観光客の滞在時間を増やす試みをしてきたが、行政の予想を上回るスピードで外国人観光客が増え、行動範囲が拡大している。 歴史的風致維持向上計画の整備が人の動きを追っている印象を受ける。 観光客の増加速度が、行政の予想を上回る可能性があるため、他都市の事例を参考に、対策を考えておくと良い。</p> <p>⑤景観整備に取り組んでいるが、景観整備が進んだというだけでなく、歴史的風致の維持向上に関する点について、例えば電線が無くなることでまちの視認性が向上し、結果として歴史的風致形成建造物や国登録有形文化財への指定などに繋がったなどとなると良い。 単体の事業は進んでいるので、各事業間の相互関係や繋がりをさらにアピールしていくと良い。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>①職人育成研修については、技術伝承を目的に取り組んでいる。今後は、更なる実践型研修を取り入れるなど、さまざまな経験を重ねていくことにより、実際の現場施工にも繋がられるような研修にしていく。</p> <p>②歴史的風致の維持、景観の保全については、許認可事務を取り扱う建築指導課及び開発審査課など、庁内連携体制を強化していくが、許可条件に抵触しないケースが多いため、情報収集をはじめ、できる限りの保全に向けた取組みに努めていく。</p> <p>③歴史的風致形成建造物の指定や国登録有形文化財については、歴史的建造物の点から線・面的に繋げ、魅力ある歴史まちづくりへの発展を目的としていることから、保全に関する意識を高めていくとともに、歴史的建造物の所有者からの指定・登録に係る相談・協議については、積極的に取り組んでいく。</p> <p>④急速する観光客の増加対策については、本市の観光入込客数と松永記念館、清閑亭、小田原文学館をはじめ、一般公開している岡田家住宅などの入館・入場者数の把握・分析を行いながら、先進都市へのヒアリング調査を実施していき、本市に即した増加対策などに取り組んでいく。</p> <p>⑤歴史まちづくり計画の施策事業の繋がりについては、本市における歴史的風致の魅力をさらに高めていくため、重点区域内の施策事業を点から線・面へと繋げていくことを意識した中で展開し、次世代へ伝えていく。</p>	